

ellipse

[エリプス]

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。

特定非営利活動法人お茶の水学術事業会 理事長交代のご挨拶

TOPICS

お茶の水学術事業会の歴史を振り返る(上)

—お茶の水学術事業会を設立した頃のこと—



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人

お茶の水学術事業会

REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース
中村蒼玉 歌舞伎ワークショップ

INFORMATION

イベント情報
事務局よりお知らせ

特定非営利活動法人お茶の水学術事業会 理事長交代のご挨拶

2024 年 7 月、平野由紀子氏に代わり、柴眞理子氏が理事長に就任しました。退任と就任のご挨拶をさせていただきます。

◆お茶の水学術事業会 歴代理事長

代	氏名	任期
初代	村重嘉文	2002 年 12 月 9 日 ～ 2005 年 3 月 31 日
第二代	平野由紀子	2005 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 7 月 6 日
第三代	柴 眞理子	2024 年 7 月 7 日 ～

退任のご挨拶

今から 19 年前、2005 年、NP
O お茶の水学術事業会初代理事
長村重氏の後を引き継ぎました。
同じキャンパス内に幼稚園から大
学院までの敷地があるのは、お
茶の水女子大の一つの特徴です。



前理事長 平野由紀子

正門から微音堂までの左右両側の銀杏並木をはじめ、春夏秋冬の移り変わりを樹木の葉に知るのでした。

2004 年は、国立大学のあり方が大きく変わった時代の到来でした。国立大学は一つの大学法人として独立する。各大学は文部科学省から分配される交付金のほかに自力で寄付金を得なければならないことになったのです。2001 年に迎えた初めての卒業生出身の学長、^{ほんだ ますこ}本田和子先生が、この新しい困難な時局にリーダーとして様々な変革をなさいました。

お茶大の場合、財団法人、社団法人ではなく、NPO 法人を設立することにしたのです。そして、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学の各同窓会の会長の方々が、NPO の理事となってくださいました。それまで別々だった組織が一堂に会して議論し、共に困難を乗り越える体験は得難いものでした。

志賀高原の体育運動場施設を存続できなかったことなど残念なこともありましたが、3・11 の東日本大震災で保護者を失った子どもたちを、長い目で見守る「夢のつばさプロジェクト」は今年で 13 年になり、その記録である「夢のつばさプロジェクト 10 年間の歩み」(2021 年 3 月 11 日発行)を読むと、関わる大学生たちや社会人の方々の想いに心を打たれます。

営利目的ではない NPO。会費と寄付が主たる収入である。理事・監事は無償。つましい予算ですが、組織として人々が協力する時、かくも感動的な場面があることを知りました。理事の方々の背後には大学と附属学校園があり、そのネット

ワークの柔軟さと誠実さは、驚くほど強い力となる。これが私の感じたことでした。

会員の方々の遅延のない会費納入には常々感謝申し上げます。ある時、桜蔭会山梨支部の方から事業会に 100 万円の寄付をいただきました。「ellipse (エリプス)」を読むと、今、大学がどんな活動をしているか、どんなイベントがあるか、よくわかるという感謝のお手紙が添えられていました。依頼された学会の名簿管理や学術集会開催の支援、ホームページの作成・管理などを手分けして担当し、「ellipse」の編集も行うなど、NPO 活動の中核を担うスタッフたちがどんなに励まされ、喜んだことか！

このようにこれまで進んで来ました。

皆様に心から御礼申し上げます。

...

就任のご挨拶

このたび、特定非営利活動法人お茶の水学術事業会の理事長に就任致しました柴でございます。

本事業会は、国立大学の独立法人化を前に、法人化後に一層必要とされる本学の財政基盤を支援

する組織としてオールお茶の水体制で設立され、本年 12 月には丸 22 年となります。

本事業会の立ち上げ、そして活動の継続は、当時の本田和子学長、立ち上げの中心的役割を担われた篠塚英子氏、初代理事長村重嘉文氏、2 代理事長平野由紀子氏を核とする理事会、事務局スタッフのご尽力、そして、会員の皆様、附属幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学の同窓会の多大なるご支援の賜物であると存じます。

設立から二十余年が経とうとする今、「お茶の水学術事業会の歴史を振り返る」座談会を持つことが、今年 3 月の理事会で提案され、前述の篠塚氏、村重氏、平野氏に当時を振り返っていただき、「ellipse」に掲載して、あらためて本事業会の歴史をご紹介することになりました。座談会では私が司会を担当させていただきます。お茶の水女子大学での職歴、本事業会の理事経験も浅い私には、事業会を肌感覚で感



理事長 柴 眞理子

じられる大変貴重な機会となりました。

私の専門は舞踊学・舞踊教育学で、30年近く神戸大学に勤務した後、お茶の水女子大学に異動となりました。神戸大学は神戸港を望む六甲山の山腹に各学部が点在し、附属学校園は大学とは離れた場所にありますので、一つのキャンパスに学部、附属学校園があるお茶大の各部局の繋がりがとても新鮮でした。また、附属高校の校長となり、PTA 連合会に出席する中で、附属学校園がそれぞれの特性を尊重しながら協同

して事業を進めている附属の在り方にも目が開かれました。

お茶の水女子大学での経験の少ない私ですが、平野前理事長はじめ、経験豊かな役員、事務局スタッフの皆様に、引き続き事業会の運営を担っていただけますことは大変心強く、オールお茶の水体制を基盤とする本事業会の強みを生かし、共にこれまでの活動を継承して参りたいと存じます。

会員の皆様には、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

TOPICS

お茶の水学術事業会の歴史を振り返る（上） —お茶の水学術事業会を設立した頃のこと—

NPO 法人お茶の水学術事業会（以下、事業会）が発足したのは2002年12月9日。設立から20年余りが過ぎ、「そもそもどのような経緯でこのような団体が設立されたのか」を知る人も少なくなりました。そこで、故本田和子 第13代学長と共に事業会の起ち上げに尽力された篠塚英子氏と歴代理事長（村重嘉文氏・平野由紀子氏）に座談会形式で当時を振り返っていただく機会を設けました（司会：柴眞理子理事長）。今回と次号で紹介します。

●篠塚英子氏に聴く



篠塚英子（しのつかえいこ）氏

お茶の水女子大学名誉教授、同経営協議会委員。1987～98年、2002～08年、お茶の水女子大学に勤務。女性初の人事官、日本銀行政策委員会審議委員などを歴任。

お茶の水女子大学は、国立新制大学となった1949年から約50年間、第12代まで男性の学長でした。ところが、国の財政問題なども背景に、2004年度から、国立大学は国の組織から独立した法人格もつ「国立大学法人」化することが決定しました。この改革により学長の権限が強化されることが認知され、法人化に備え、強いリーダーシップを発揮できる学長を選出する必要性が各大学で議論されていました。女子大でありながら戦後、女性学長が不在だった本学でも、家政学部の先生方を中心に、お茶大出身の学長を、との気運が高まり、第13代目にして初の女性学長、本田和子学長（当時72歳）が誕生しました（任期：2001年2月16日～05年3月31日）。

一方、私は、1987年にお茶の水女子大学の家政学部に雇

用されましたが、1998年に日本銀行政策委員会審議委員に任命され、兼職禁止であったため退職しました。2001年3月にその任期を終えた後、すでに国立大学法人化の準備を進めておられた本田学長から、独立行政法人化に向けて財政面でアドバイスをしたいと声を掛けていただき、2002年1月にお茶の水女子大学に復職、2月から学長補佐を務めることになりました。

私は、お茶大の財政基盤を支援する独自の仕組みを準備する必要があると提案し、話し合いを重ねた結果、非営利法人でスピードをもって設立できる組織という観点から、NPO法人を作ることになりました。その時に一番力になってくださったのが、鹿住倫世さん（現在、専修大学商学部教授、お茶の水学術事業会監事）でした。家政学部家庭経営学科の出身で、経営がご専門でしたので、設立に必要な書類を整えていただくなど多大な協力をいただきました。また、事務局は、岩城聡美さん（家庭経営学科卒、私のゼミ生）と太田みえさん（食物学科卒）が引き受けてくださり、鹿住さんを含むこの3人の存在があってこそ、今の事業会がある、と感謝しています。

NPO法人というのは、公共のために役立つような活動を行う組織です。実は、そこがものすごく重要な点で、大学の

ある文京区だけでなく全国に向けて、女子大学が存続する意味を広報し、発信し、なおかつお茶の水女子大学が繁栄・存続するような活動をするのが目的です。

本田先生とまず考えたのは誰もが参加しやすい「ワンコインダラー＝500円硬貨1枚」で参加可能な活動です。その精神は今も引き継がれております。

事業会の個人会員の年会費額は1口6,000円である。これは「月会費1口500円」に基づいており、当初は納入方法も毎月、3ヶ月毎、半年毎、1年毎から選ぶことができた（現在は原則として1年毎）。また、お茶の水ブックレットは、税込みで1冊500円であった（現在は本体価格が500円）。

また、NPO法人の中に寄付を集めて、大学や先生方の様々な活動で社会に還元できたらとも考えました。そこで、大学のHPを通じて、設立の目的や具体的な事業内容を説明したり、先生方お一人お一人にお目にかかって直接協力をお願いしたりしました。お茶の水ブックレット1の巻末には、設立時（2002年12月～03年2月）の寄付者と会員304人のお名前が載っています。その多くは当時のお茶水女子大学の先生方です。家政学部を退職された先生がわざわざ電話をくださり、「篠塚先生、僕は、あなたのその考え方に賛成です」とおっしゃって、100万円寄付してくださいました。

一方、本学の各同窓会（附属幼小中高と大学）からは、同窓会があるのに、新たな組織を設立すれば、会員からの寄付の奪い合いになると反発もありました。それで、本田先生と何度も説明に行き、各同窓会の関係者に事業会の理事として

参画していただくなどの対応もしました。このようにして、難産ではありましたが、2002年12月、大学に財政的な支援をする仕組みとして、事業会の設立に漕ぎつけることができました。



お茶の水ブックレット

「お茶の水女子大学の活動や研究成果を、広く一般に公開すること」を目的とし、現在、第12号まで発行されている。

ところが、お茶の水女子大学は、国立大学法人化した2004年の12月、独自に財政面をサポートする新組織を創ることになったのです。「教職員・学生の保証人を正会員とし、同窓生及び同窓会会員、その他一般の方など、お茶の水女子大学のミッションに賛同してくださる方々を賛助会員とする」(*)「お茶の水女子大学後援会」がそれです。大学自体が直接、新入学生の保護者や教職員から支援を仰ぐのですから、NPO法人を使う迂回作戦より確実な集金手段です。そのままでは、目的・会員層をほぼ同じくする団体が二つ存在して混乱を招くことになります。そこで、大学と協議した結



おかげさまで会員数は約1400人になりました！

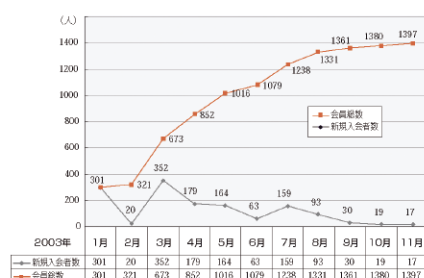
2002年12月の設立から1年が経過しました。会員数と会費収入の推移を振り返ると、順調な1年であったことが感じられます。2002年度は実質3か月という短期間にもかかわらず、お茶の水女子大学の教職員、名誉教授からの会費・寄付金が大きく貢献し、総額17,565,191円の活動資金が集まり、よいスタートダッシュとなりました。

また、お茶大卒業生約1万8,000人への入会案内DMの効果で、2003年3月～5月は集中的に約700人のご入会があり、この時点で会員数は1000人に達しました。

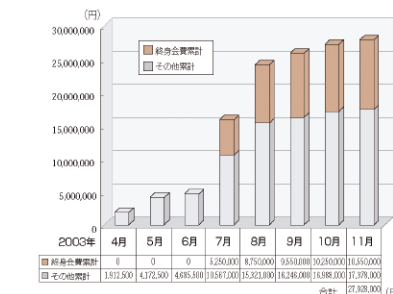
7月にはお茶大の前身である東京女子高等師範学校の卒業生約2000人にご入会と終身会費（5万円）の納入をお願いしたところ、200人以上のご入会がありました。

現在は月に十数人程度の入会者数に落ち着いていますが、会員総数は1,397人（2003年11月末現在）となり、2003年度（4月～11月）の収入は27,928,000円ありました。会員・寄付者の皆さまをはじめ、PR活動にご協力くださった、社団法人桜蔭会、社団法人作楽会、鏡影会、茗鏡会、ちぐさ会の皆さまに、厚く御礼を申し上げます。

会員数の推移



会費収入の推移



2003年3月の理事会の議事録には、「卒業生への入会案内発送（18326通）」と記録されている。

また、2004年1月発行の「ellipse」3号には会員数の報告と併せて「会員・寄付者の皆さまをはじめ、PR活動にご協力くださった、社団法人桜蔭会、社団法人作楽会、鏡影会、茗鏡会、ちぐさ会の皆さまに、厚く御礼を申し上げます。」とある。

※「ellipse」のバックナンバーはお茶の水学術事業会のHPでお読みいただくことができます。 <https://www.npo-ochanomizu.org/>

果、事業会の会員は大学支援後援会に移行し、事業会には後援会から助成金を譲渡すること、事業会は「特定非営利法人本来の業務に専念しつつ、大学支援の一端を担う」(*)ことが決まりました。

それで、事業会会員の皆様に書状をお送りして事情を説明し、大学支援後援会の会員に移っていただくようお願いすると同時に、事業会を「退会する」か「継続する」かについても伺いましたのです。事業会の趣旨に賛同し、引き続き会員として支援するという選択をしてくださった方がいらしたのは、本当に心強いことでした。

*「」部分は、事業会会員宛「お茶の水女子大学後援会趣意書」(2005年3月)より引用

かくして、最初のプランとは劇的な変更が生じましたが、お茶の水ブックレットの出版、会報「ellipse」の発行、大

◆ 後援会設立前後の会員数の推移

	2003年3月	2004年3月	2006年3月
教職員	308	280	10
教職員以外 (同窓生・一般の方)	155	1,149	699
法人	—	4	5
合計	463	1,433	714

学や附属学校園の広報、シンポジウム、講演会の冊子化活動、学会事務代行業務等のNPO活動に専念しました。資金が限られた状況の中で、22年間も継続できたのは、会員の皆様のご支援、そして継承してくださった事業会理事長はじめ役員・スタッフの皆様のご協力があったことです。

お茶の水学術事業会よりお知らせ・1

1) 2025年度 共催講演会・助成金事業を募集しています！

【対象となる事業期間】2025年4月1日～2026年3月31日

【申請受付】2024年10月1日～11月30日

【申請方法】HPよりフォーマットをダウンロードしてご記入いただき、必要書類を添えて、メール添付もしくは郵送にてお茶の水学術事業会の事務局までお送りください。

○ 共催講演会

【条件】・対象を特定の機関・団体に限定しないこと

・参加予定人数が50名以上であること

【内容】・講師謝礼金の助成(3万円以内)

・講師の交通費の支給(実費、下級運賃で上限5万円)

・広報のお手伝い

○ 助成金事業 ※ 他の助成金との併用可

【対象】学術・調査・研究・教育等の活動、出版事業、ボランティア活動、国際協力研究・教育支援事業、保育及び子どもの健全育成のための活動

【助成金額】対象となる事業費の2分の1以内とし、1件につき10万円まで

2) ご入会・ご寄付を随時受け付けております！

○ 会員区分と会費額

一般(正会員/賛助会員)	年会費 1口6,000円 1口～
終身(正会員/賛助会員) ※ご入会時に70歳以上の方	50,000円 一括払い
法人会員	年会費 1口30,000円 1口～

※正会員には議決権があります。

○ 会費・ご寄付のお振込先

【振込先】ゆうちょ銀行(郵便振替口座)

【口座番号】00100-3-583029

【口座名義】特定非営利活動法人お茶の水学術事業会

※ 所得税の寄付金控除の対象にはなりません。

※ ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)をお知らせください。

3) お茶の水ブックレットシリーズのご紹介

お茶の水女子大学(附属学校園・同窓会を含む)の様々な活動や研究成果をお伝えすることを目的として発行しています。

【定価】550円(税抜価格500円・消費税10%)

※送料、郵便振込手数料は別途ご負担いただきます。

【現在ご購入いただけるブックレット】

第12号「グローバルリーダーとは—今、そして未来に向けて—」(講演録)

第11号「2015年ノーベル生理学・医学賞受賞 大村智博士講演録 私の半生と出会った女性たち」(講演録)

第10号「キャリア・デザインと子育て—首都圏女性の調査から」
「子の発達段階に応じたキャリア・デザイン」研究会(著)
石井クンツ昌子(監修) 坂本有芳(編集)

第9号「子どもは変わる・大人も変わる—児童虐待からの再生」
内田伸子(著)

第7号「家族と犯罪—近しい者の憎悪はなぜ?」(講演録)

※ 上記ブックレットはAmazonでもご購入いただけます



第11号



第10号



第9号

【詳細・ご注文】お茶の水学術事業会 HP

<https://www.npo-ochanomizu.org/product.php#no1>

ご連絡・お問い合わせは下記までお願いいたします。

お茶の水学術事業会事務局

Email: info@npo-ochanomizu.org

TEL: 03-5976-1478 (月～金 10時～16時)

夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

2024 夏 キャンプ

2024年度の最初の行事「2024 夏キャンプ」が、青梅市のブリヂストン保養所奥多摩園にて、8月3～5日の2泊3日で行われました。高3から中1までの子どもたち10名、学生・OGOBスタッフは入れ替わりを含め28名、同じく社会人スタッフ・協力者8名が参加しました。

◆ 主な内容

8月3日(土)	盛岡、仙台、郡山駅にて集合/送迎、開会式、自己紹介/近況報告、レクリエーション、前夜祭/奥多摩園庭にて花火
8月4日(日)	勉強タイム、夏祭り企画、ワークショップ「テンセグリティ」
8月5日(月)	閉会式、スライドショー、寄せ書き/感謝カード作成タイム、奥多摩園の方々へ御礼、出発、上野駅にてお土産タイム、送迎/盛岡、仙台、郡山駅にて解散

開会式で、急遽自分たちの近況報告をすることになりましたが、どの子どももしっかりと、また嬉しそうに、笑顔で自分の様子を話すことができ、「もじもじしていたあの子どもが、びっくりするほどの成長を見せて、早くも涙腺が緩んだ」と報告してくれるOGもありました。

奥多摩園のお食事は、いつもとても工夫されていて、子どもたちも大人たちも大満足です。今回もお刺身や小鍋でいただくお肉やお野菜、小鉢等幾皿も並び、とてもおいしくいただきました。配膳のスタッフも細やかなサービスで恐縮するほどでした。

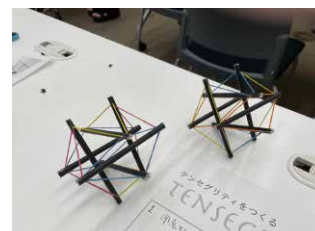
夕食後、奥多摩園の広いお庭のバーベキュー場で、夏祭りの前夜祭の花火をしました。実は、心配性の事務局子は、夏祭りを庭でやりたいという学生さんからの要望に、熱中症の危険性に加えて、以前に奥多摩あたりにもクマが出たことがあったことをとても心配していたので、室内での開催を提案しました。夕食後の外での活動も、もしクマに出くわしたらどうしようかと、頭の片隅で心配していたのですが、大勢で大騒ぎしてもうもうたる煙を上げる花火に、「これはいくら何でも杞憂だったな」と安心した次第です。

2日目は、夏祭り本番です。奥多摩園にご相談して、快く食堂1階を使用させていただくことができました。綿菓子器をレンタルし、奥多摩園からホットプレートを3台も貸していただいて、フランクフルト、焼きトウモロコシ、イカ焼き、焼きそばといっ

たメニューを用意して、皆で調理しました。どれもとてもおいしく、また綿菓子も大好評でした。社会人スタッフが差し入れてくれたスイカも、よく冷えていて夏祭り気分を盛り上げてくれました。企画・手配を担当した学生さんに、皆が口々に感謝を述べて、本人は涙で感激していました。この企画は、奥多摩園の調理部の協力なしにはできませんでした。温かい心遣いをいただいたことを学生さんたちが体験できたこと、私たちの活動を心から応援してくださる方々に支えられていることを子どもたちに伝えることができ、本当に良かったと思っています。



夏祭り やきそば班



テンセグリティ作品作り

夕食後は、東京電機大学建築科の岩城和哉教授の指導による、ワークショップ「テンセグリティ作品作り」です。輪ゴムとストローの初歩的作品でしたが、美しく、驚きのある構造を苦勞しながら作り上げて、皆、満足そうでした。これまで、何度も大掛かりな作品を制作指導してくださっている岩城先生は、過去の写真なども見せてくださりながら、次は巨大なのを作ろうね、と楽しそうに解説してくださいました。

徐々に支援する子どもたちが卒業し、集まる顔ぶれが決まってきましたが、皆とても楽しみにして参加してくれています。現役学生スタッフが本年度は少なかったのですがOGOBたちの支援の下にとても意欲的に活動し、一体感が高まりました。



2024 夏キャンプ 帰路

今回は最後の送りで、新幹線に乗り遅れるというアクシデントが起きましたが、これまでの経験知で何とか乗り切ることができました。今後もこの活動をさらに意義あるものにしていきたいと考えています。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号 227) 普通 1284200

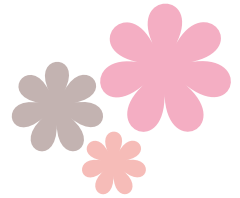
【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 柴 眞理子 ※ 夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

連絡先: 事務担当 滝澤公子 E-mail: tsubasa@np-ochanomizu.org

お茶の水女子大学 イベント情報



2024 年 1 月以降に開催される各種イベントの知らせです。※いずれも参加費は無料です。

お茶の水女子大学 HP も併せてご覧ください。https://www.ocha.ac.jp/

開催日時	イベント・講座名	参加費	備考
2024 年 11 月 1 日 (金)	第 45 回持続可能な開発目標 (SDGs) セミナー「JICA 海外協力隊セミナー」	無料	【会 場】国際交流留学生プラザ 2 階多目的ホール 【主 催】お茶の水女子大学グローバル協力センター 【協 力】JICA (独立行政法人国際協力機構) 【後 援】SDGs 推進研究所 【詳 細】https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20241101.html 【申込み】https://x.gd/lxlpq 【問合せ】info-cwed@cc.ocha.ac.jp
11 月 4 日 (月・祝) 14:00 ~ 15:30	第 47 回 リケジョー未来シンポジウム 【講演者】 牛房奈菜子氏 (横河電機株式会社) 早川菜氏 (アズビル株式会社)	無料	【形 式】ハイブリッド開催 (国際交流留学生プラザ 2 階多目的ホール & Zoom) 【主 催】お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 【対 象】女子中学生・高校生、保護者、教員、女子大学生・大学院生 【詳 細】http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP 内の専用フォームにて 【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
11 月 15 日 (金) 13:00 ~ 16:00	IGL 国際シンポジウム “Multicultural Coexistence and Development of Leadership under Globalization” 「グローバル化のもとでの多文化共生とリーダーシップ」 【講演者】 Gracia Liu-Farrer (早稲田大学) Helena Hof (University of Zurich) Hilary J. Holbrow (Indiana University)	無料	【形 式】ハイブリッド開催 ※英日同時通訳あり 【主 催】お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 【対 象】本学学生、教職員、一般 (事前登録制) 【詳 細】お茶の水女子大学もしくはグローバルリーダーシップ研究所の HP にて 【申込み】同上 【問合せ】info-leader@cc.ocha.ac.jp
11 月 17 日 (日) 14:00 ~ 15:30	第 5 回女子中高生のための VR 体験セミナー 【司会】 伊藤貴之氏 (本学基幹研究院教授、文理融合 AI・データサイエンスセンター長) 【講演者】 矢島知子氏 (本学理学部化学科教授) 「化学が支える未来」	無料	【形 式】cluster (VR 専用 SNS) にてオンライン開催 【主 催】お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 【対 象】女子中学生・高校生 【詳 細】http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP 内の専用フォームにて 【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
11 月 24 日 (日) 14:00 ~ 16:00	第 2 回 クイズから考える身のまわりのコト・セミナー 【講演者】 伊藤瑛海氏 (日本学術振興会特別研究員) 「ムラサキ色と文化と研究～時代を超えて愛される植物『ムラサキ』について」 【ナビゲーター】 本学大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程 3 名	無料	【会 場】お茶の水女子大学本館 306 室 【主 催】お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 【対 象】女子中学生 【詳 細】http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP 内の専用フォームにて 【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
12 月 25 日 (水) 13:20 ~ 14:50	IGL セミナー テーマ：日本のジェンダー格差の問題を法学の視点から 【講演者】 三成美保氏 (追手門学院大学教授、専門：ジェンダー法学) ※講演タイトルは未定	無料	【形 式】オンライン開催 【主 催】お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 【対 象】本学学生、教職員、一般 (事前登録制) 【詳 細】お茶の水女子大学もしくはグローバルリーダーシップ研究所の HP にて 【申込み】同上 【問合せ】IGL-seminar@cc.ocha.ac.jp
2025 年 1 月 8 日 (水) 13:20 ~ 14:50	IGL セミナー テーマ：ジェンダーステレオタイプ・偏見と日本のジェンダー格差の問題 【講演者】 森永康子氏 (広島文教大学教授) ※講演タイトルは未定	無料	【形 式】オンライン開催 【主 催】お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 【対 象】本学学生、教職員、一般 (事前登録制) 【詳 細】お茶の水女子大学もしくはグローバルリーダーシップ研究所の HP にて 【申込み】同上 【問合せ】IGL-seminar@cc.ocha.ac.jp

お茶大女性リーダー育成塾：^{き いん じゅく} 徽音塾 2024 年度

～おかげさまで 10 周年～

「お茶大女性リーダー育成塾：徽音塾」は、2014 年 5 月に「お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾」としてはじまりました。これまでの塾生総数はおよそ 450 名。今後も有意義な学びとつながりの場として女性の活躍を応援してまいります。お気軽に事務局までお問い合わせください。

後期の講座へのお申し込みをお待ちしております。

詳細と各申込は、徽音塾ホームページ <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/> をご覧ください。※「きいんじゅく」で検索可能です。

【2024 年度 開催概要】

時 間	13:30 ～ 16:40（すべて土曜日）
形 式	オンライン（Zoom）と対面のハイブリッド ※ PC での受講を推奨します ※ 1 科目から受講いただけます ※ 最新情報は HP、X（旧 Twitter）をご覧ください。  HP  X（旧 Twitter）

11/30・12/7	「マーケティング入門」 神原 理（専修大学 商学部 教授）
12/14・21	「働く女性のための会計学 会計基礎力を身に付ける—取引記録の仕組みと企業活動の成績表—」 櫻井 康弘（中央大学 商学部 教授）
2025 年 2/15・22	「働くあなたを守る、知っておきたい労働法」 内藤 忍（独立行政法人 労働政策研究・研修機構（JILPT）副主任研究員）

【2024 年度開催の講座】2024 年 11 月～2025 年 2 月
ビジネス講座（一般的なビジネススクールで学ぶ内容を厳選し、本学独自の視点を加えた講座）4 講座となります。

2024 年 11/9・16	「いちばんやさしい脱炭素社会 ～カーボンニュートラルの最前線～」 松田 有希（株式会社テクノバ 研究部 主幹）
----------------	--

〈お問い合わせ・連絡先〉
お茶大女性リーダー育成塾：
徽音塾 事務局 E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

2024 年度 ブータン連続セミナー

【形式】 Zoom によるリアルタイム配信
【主催】 グローバル協力センター、日本ブータン研究所
【対象】 お茶の水女子大学関係者・一般

【問合せ】
グローバル協力センター講師 平山雄大
E-mail: hirayama.takehiro@ocha.ac.jp

※開催時間はすべて 15:00 ～ 16:30 です。



開催日時	イベント・講座名	備考
2024 年 11 月 22 日（金）	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ (55)」 — 『The Wonder List with Bill Weir』 『Bhutan: The Happiest Place on Earth』（アメリカ・2016 年） —	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20241122.html 【申込み】 https://forms.gle/Jxqy7JY3tDKPky19
12 月 13 日（金）	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ (56)」 — 『101 EAST』 『Bhutan's Forgotten People (Part1)』（カタール・2014 年） 他 —	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20241213.html 【申込み】 https://forms.gle/cJVHgVpW4atyUYw29
12 月 27 日（金）	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ (57)」 — 『101 EAST』 『Bhutan's Forgotten People (Part 2)』（カタール・2014 年） 他 —	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20241227.html 【申込み】 https://forms.gle/T7qVUhe2JBQozpyA9
2025 年 1 月 17 日（金）	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ (58)」 — 『ラウンドちゅうごく 為になるテレビ』 『島根の教育が“幸せの国”を救う! ?』（2019 年） 他 —	【詳細】 http://www.bhutanstudies.net/23118/ 【申込み】 https://forms.gle/ZmC9EZK5oMVdqKM29g
2 月 7 日（金）	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ (59)」 — スイス人によるブータンの記録映像（1974 ～ 1982 年） 前編 —	【詳細】 http://www.bhutanstudies.net/23119/ 【申込み】 https://forms.gle/b6m2M245dN2tCzx37
3 月 7 日（金）	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ (60)」 — スイス人によるブータンの記録映像（1974 ～ 1982 年） 後編 —	【詳細】 http://www.bhutanstudies.net/23120/ 【申込み】 https://forms.gle/kidJdmdp9RQGVEA6A

イベント参加レポート

中村蒼玉 歌舞伎ワークショップ

主催：お茶の水女子大学「伝統芸能×未来」プロジェクト

開催日時：2024年8月3日（土）13:00～14:30

会場：お茶の水女子大学 国際交流留学生プラザ3階

講師：中村蒼玉氏（歌舞伎俳優） 山崎 徹氏（歌舞伎付け打ち）

司会・進行：埋忠美沙氏（お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所 准教授）

参加人数：25名



2年前に同プロジェクトが主催したトークイベント「中村蒼玉と歌舞伎」（2022年12月17日）に参加し、蒼玉氏の歌舞伎に対する情熱、理解度、真摯な姿勢、そして何よりその美しさに感銘を受けた歌舞伎鑑賞歴60年の私は、今回もポスターを見つけるなり即参加の申し込みをしました。今回はトークだけでなくワークショップもあるとのこと、期待も込めて着物で参加です。

早めに会場に着いたところ、ガラんとした室内には付け打ちの道具が4～5セットも置かれています。これはもしかして付け打ちメインのワークショップかな？？

まず会場に現れたのは付け打ちの山崎氏。道具をセットされ、その側で付け打ちの衣装である裁着袴（膝から下が細くぴったりした袴）に着替えられたのですが、その様子が粋で、近頃殆ど死語になったかとさえ思う“行儀の良さ”を感じさせてくれました。初っ端から古典芸能万歳！です。

まず会場に現れたのは付け打ちの山崎氏。道具をセットされ、その側で付け打ちの衣装である裁着袴（膝から下が細くぴったりした袴）に着替えられたのですが、その様子が粋で、近頃殆ど死語になったかとさえ思う“行儀の良さ”を感じさせてくれました。初っ端から古典芸能万歳！です。

やがて、時間になり蒼玉氏、司会・進行の埋忠先生も登場して、ワークショップが始まりました。参加者の多くは若い方（大学生・大学院生・附属校生徒）で、皆さんラフな格好なので、勇んで着物で参加した身としてはやや拍子抜けし、埋忠先生に「皆さん着物を着て参加されるのかと思っていました」と申し上げたところ、「参加ハードルを下げようと思って」とのお返事。確かに和物に対する馴染みの薄いであろう若い人たちが、こうした本格的な和の催しに参加して、どのような対応をし、変化していくのかということにも興味がありましたし、良い影響を受けていただきたと思っていたので、主催者の心遣いに感心しました。

歌舞伎好きとしては、付け打ちは見慣れたもので、正直、「なぜ、この期に及んで付け打ち？」と思わなくもなかったのです。

すが、どうしてもどうして、改めてその歴史、道具、技について説明を聞いてみると、知らないことだらけ。目から鱗、お恥ずかしい限りでした。この段階ですでに参加して花丸の気持ちです。

付け打ちは歌舞伎の舞台上^{かみて}（舞台に向かって右手）端の幕際に座り、木の板面に拍子木のような木の道具を両手で打ち付け、役者が見得を切る時、走る時、転ぶ時、物を投げた時などに音を出す演出法です。同じく木と木の当たる拍子木とは全く異なる「バタバタ」という大きな音で、音程もなく、強弱と“間”といわれるリズムに近いものだけで、歌舞伎の演出を強調させるのですが、この抽象性が歌舞伎の持つリアルさと絡み合って舞台の深みが増しているような気がしました。

実は、よく聞いていると、付け打ちの音は、必ずしも所作とピッタリ合うのではなく、時として微妙にズれるのですが、このズレ、揺らぎこそが、“間は魔物”と言われるような、歌舞伎の独特の面白味につながるのではないかと思います。参加者の中に音楽の先生がいらしたので、洋楽のリズムと邦楽の間についてお尋ねしたら、「全く違うもので、和のものは難しい」とおっしゃっていました。



説明に続いて、参加者の方々の実演です。数人の方が、実際に付け打ちに挑戦されました。皆さん初めてとは思えない飲み込みの良さ！積極性も二重丸。さらに蒼玉氏と参加者の所作（動作）と付け打ちのコラボでは、皆さん洋服姿であるにも関わらず、膝を曲げ、袖を合わせて見事に演じられました。和の所作の面白さを分かっていただけでしょうか。

このような催しを通して日本の伝統芸能の面白さが広く伝わっていくことを願っています。

（お茶の水学術事業会 古庄洋子）

「伝統芸能×未来」プロジェクト（Japanese Performing Arts for the Future (JPAF)）では、「日本を知り、世界へ歩む」ために、そして「過去を知り、未来を切り開く」ために——若者たちが日本の伝統芸能と出会い、学ぶための、魅力的なイベントを企画・開催しています。HPもぜひご覧ください。
<https://www.cf.ocha.ac.jp/dentogeino/>

桜蔭会よりご案内

桜蔭塾

ご自宅からオンラインでも参加できる新しい「学びと交流の場」です。 <https://www.ouinjuku.com/>

●第2回 20代30代のキャリアシェアリング

～集まろう！20代30代、転職について話そう！～

<https://www.ouinjuku.com/careershare-no2>

【日 時】11月24日(日) 13:30～15:30

【会 場】国際交流留学生プラザ 4F

【対 象】20代30代のお茶大卒業生・修了生

【参 加 費】500円(お菓子付き)

【申 込 締 切】11月19日(火)

●第25回桜蔭塾講演

「腸内細菌・プロバイオティクスと健康 ～腸活のススメ～」

<https://www.ouinjuku.com/koza25>

戸塚 護 氏 東京農業大学生命科学部分子微生物学科教授

【日 時】12月8日(日) 14:00～15:30

【会 場】国際交流留学生プラザ 4F + Zoom

【受 講 料】桜蔭会会員：無料 お茶大在学生(大学院を含む)：無料
非会員：1,000円

【申 込 締 切】12月4日(水)

●桜蔭塾「ブリッジ入門講座」

<https://www.ouinjuku.com/bridge>

【日 時】毎月2回 10:00～12:00

【開 催 場 所】国際交流留学生プラザ 3F 会議室

【講 師】大塩裕子 先生

【参 加 費】3,000円/月(含：テキスト代)

【対 象】どなたでも！



桜蔭塾

就活応援 ZoomでOG訪問

学生さんのお申し込み＆OGアドバイザー募集中！

就活に悩んでいる学生さんと希望のOGアドバイザーとで「1対1」の就活相談(30分～45分/回)ができます。



学生OG訪問お申込み



OGアドバイザーご登録

お茶の水学術事業会よりお知らせ・2

■お茶の水グッズのご紹介

<https://www.npo-ochanomizu.org/product.php>

●HPの注文フォーム、メール、電話、FAXでご注文を受け付けます。

●日本全国に配送いたします。 ※送料は実費をいただきます。

品 名	定価(税込)
お茶大ゴーフル	842円
一筆箋	396円
クリアファイル A4	132円
クリアファイル A5	110円
絵はがき	88円



お茶大ゴーフル



クリアファイル



一筆箋

【ご連絡・お問合せ】お茶の水学術事業会事務局

Email : info@npo-ochanomizu.org

TEL : 03-5976-1478 (月～金 10時～16時)

11/9(Sat.),
11/10(Sun.)

第75回 微音祭

今年の微音祭は、昨年度に引き続き
対面開催です！

テーマ「teatime」のもと、
お茶大の魅力をたくさん感じられる
素敵なお茶の時間をお届けします。

企画の詳細や微音祭の最新情報はこちらから！

 微音祭公式サイト

 Instagram
@ocha.kiin

 X (旧Twitter)
@OchaKiin

編集
後記

お茶の水学術事業会のスタッフになって十数年、恥ずかしながら、今日やるべきことばかりに気を取られてきたように思います。今回、篠塚氏、平野氏、村重氏からお話を伺うことができたのは、とても良い機会でした。前を見るだけでなく、時として振り返ることも大切だと実感しています。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか？次号は2025年2月に2500部発行予定です。会員の皆様ははじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3号館 204

TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org<https://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合わせの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地

東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線

茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線

護国寺駅から徒歩8分

都バス

大塚2丁目バス停すぐ